

永代祠堂経に付かれた方にご案内

四月は境内の桜が満開です。桜の時期になると若かりし時の苦い思い出が去来します。

当時、仲間と桜を魚に酒宴に興じていた時、いつもお参りになる老いたご門徒が「桜がなぜ綺麗か分かる？」と問いかけてきました。虚を突かれ、返す言葉もなく沈黙していると、その方はこう言うのです。「桜は精一杯努力して美しくいはなを咲かせて人を喜ばす。そして、その成果を一瞬のうちに散らせて平然としている。その姿が美しいのだ」と言い放った。

桜にはそんな意思などないが、それを愛でる我々はいろいろな意味を気付かせてくれるのだと初めて知った。おそらく老婆は咲き誇り散つていく姿に自身の命の真意を感じ取ったのだろう。

娑婆には幾多の出会いがあります。しかし、別れのない出会いは一つもありません。あるとすれば仏との出会いです。娑婆での別れを縁に、そこからより深い命の営みに出会うのです。

「さよなら」とは仏縁です。私が仏願を抛り所にした新しい自分に巡り逢うことです。このような命の依って来たる由縁と行く末を自覚した自立的な生き方を菩提の道といえます。

永代経法要の営みは、この真実を一人でも多くの方々に気付いてほしい、という往生した先達の永代の思いに出会うことです。下記ご案内いたします。

亀山御坊永代経法要日程

四月十二日(土)・十三日(日)

午前七時半 晨朝勤行 本堂・蓮如堂
午後一時 永代経法要 本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師
布教 寿願寺 西寺 正師

お説経は、お勤めの後、蓮如堂で聴聞します。

蓮如忌法要のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散つていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。ツツジが咲く頃、**五月十一日**には**蓮如上人のご法要**です。境内に梅檀の香りが漂う頃、この頃にはコロナへの過敏な反応も落ち着きを見せているかも知れません。是非とも仏縁にお会いください。

個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご相談の方は左記お問合わせ下さい。

問合先・本徳寺事務所・電話(235)0242